

3連覇の 偉業達成



8月14～16日に東京都の国立競技場で開催された「第44回全国高校定時制通信制陸上競技大会」で、関商工高校3年の水流勇樹さんが800m、1,500mで優勝し、800mで2連覇、1,500mで3連覇を成

し遂げ、出場した全選手から男女1人ずつ選ばれる大会最優秀選手に選ばれました。また、同大会では同じく関商工高校4年の川橋直也さんが円盤投げで見事優勝しました。

あんな事、こんな事



多くの命を救うために

9月9日の「救急の日」にちなんで、アステラス製薬(株)から高規格救急車1台が中濃消防組合に寄贈されました。同社は社会活動の一環として、1970年から各自治体の消防機関へ救急車を寄贈しており、本年度を含めて寄贈は39回、累計寄贈台数は216台(うち高規格車は37台)となります。寄贈された救急車は関消防署に配置されています。

高度な観察力と解剖技術

広島大学で開催された「第2回全国生物学コンテスト生物チャレンジ2009」で、武義高校3年の丹羽雅哉さん(緑ヶ丘中出身)が、上位10人に贈られる金メダルを獲得しました。高校では科学部で熱心に活動し、幼いころから動物や昆虫などが大好きという丹羽さんは「将来は生物学の研究者になりたい」と夢を語ってくれました。



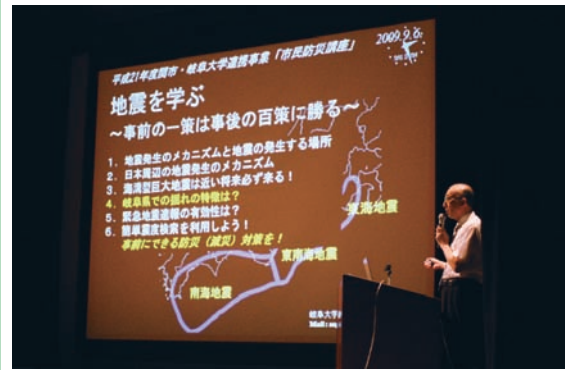


大きな機械で稲刈り体験

武儀西小学校5年生がコンバインを使った稲刈りの体験をしました。同校では総合的な学習の一環として、5年生が4月に籾まき、5月に田植え、7月にはかかし作りに取り組んできました。ミナモやヤマリンなどのかかしに守られ、今回収穫したもち米は、11月に行われる保護者や地域の方々との交流会のあと、もちつきをしてみんなで食べる予定です。

防災について考えよう

防災に関する正しい知識を身に付け、関心を高めるとともに、災害が発生したときに適切な対応ができることを目的に9月6日、市民防災講座の第1回目が開かれ、多くの市民が参加しました。この講座は全6回の予定で、市が岐阜大学と進める大学連携事業の一環として、講師に岐阜大学の専門家を迎えて行われます。また、6回すべての講座に出席した方には市から修了証が渡されます。



だれがいちばん高く登れるかな？

旭ヶ丘幼稚園で9月2日、クライミングウォールの完成式典が行われました。クライミングウォールとは、表面に、よじ登るための突起(ホールド)をつけた人工の壁のことで、完成した壁は森をイメージしています。園児によるテープカットのあと登り初めが行われ、この日を首を長くして待っていた園児たちは元気よく登って、新しい遊具に満足している様子でした。

ふるさとの川を美しく

長良川中央漁業協同組合の組合員約260人が、長良川、津保川、板取川、武儀川の4河川の河川敷、合わせて16カ所で清掃活動を行いました。池尻・長良川河川敷では、組合長である尾藤義昭関市長のあいさつのあと、組合員らは数人ずつの班に分かれ、関観光ホテル前から鮎之瀬大橋まで、池尻地内の河川敷を約2キロに渡り、2時間かけて清掃活動に汗を流しました。



こぼれ話



旭ヶ丘幼稚園のクライミングウォール完成式に行ってきました。このクライミングウォールを登ることで、園児たちの体力の向上が図れるほか、ホールド(突起)から手や足がはずれないように注意する集中力や、次はどのホールドに手や足をかければいいのかを考える思考力を高める効果があると言われています。ホールドは赤、黄、青のさまざまな形のものバラバラに置かれているように見えますが、手をつかむところ、足がかかるところを計算し、簡単すぎず、難しすぎない

ように配置されています。

突起があるとはいえ、垂直な壁を登ることは園児には難しいだろうと思っていたのですが、園児たちはテープカットの前から「登りたい、登りたい」ととても登りたそうにしており、実際スルスルと登っていく子がかなりいたのには大変驚きました。また、登れない子も、壁を登ろうと何度も挑戦する姿が印象的でした。同園のクライミングウォールは屋外にあり、水や磨耗に強いイペの木できていて、安全のため地面にはゴムチップのクッションが埋まっています。